

学校だより 教育目標<自主・協和・錬磨>「笑顔南中」



# 南 中 の 杜



見附市立南中学校(62-0987) 令和3年7月15日(NO.6)



## みんなの力でSNSトラブルを防ごう

校長 深澤 正英

7月5日(月)に、インターネット利用アドバイザーであり、長岡市教育委員会教育委員でもある、大久保 真紀様を講師にお迎えして、SNS講演会を行いました。豊富でわかりやすい事例をもとに、全校生徒が共に話し合い、身近な存在であるスマホやネットの活用について深く考えることができました。

○「誰かに見てもらいたい」「共感して欲しい」という動機でネット上に投稿することが多いが、誰に、どのような見られ方をされているか分からないのが現実。その覚悟はあるか。

○「面白いから」「ノリで」「うちらだけだから」「何となく大丈夫でしょう」という軽い気持ちから入るが、微細な情報により個人の特定につながり、リアルより遙かに多くの人の目にさらされることになる。

○おしゃべりだったら、相手の表情や場の空気等、文字以外の情報から言葉や気持ちの真意をつかむことができるが、文字だけのコミュニケーションだとそれが難しく、人によって受け取り方が大きく変わってくる。

○投稿後にトラブルとなり、後悔、反省してスマホ画面からアイコンを消したりアンインストールしたりするが、アカウントは

消えていない。パスワードを忘れてしまったらさらに削除が困難になる。本社が海外にある企業も多く言葉の障壁もある。

「中学生にとってスマホは必要か、不必要か」という問いは、答えが分かるところです。しかし、現在のようにスマホが普及して、今後、SNSの活用が増える以上、起こり得るトラブルや問題点を事前に知り、未然防止に向けて自分自身をコントロールする力を養うことは不可欠です。同時に、一人だけでは行動が難しいので、周囲の人と良い方向で認識を合わせて、みんなで適切な活用をする意識を持つことが大切です。

「ネットやSNSは、人間関係のトラブルの原因になったり、寝不足からくる健康障害を招いたりする。反面、モラルやマナー、ルールをしっかり守って活用すれば、学習の探求や夢の実現の手段として有効なツールにもなる。」という、大久保様の言葉が印象的でした。

スマホやパソコン、タブレット等の活用については、今後も学校で指導を継続していきますが、ご家庭の責任において、適宜ルールを確認し、トラブルの未然防止に向けてご指導くださいますようお願いいたします。

## ● 7 / 8 (木) クラスマッチ

「クラスマッチ」とは、学級対抗の校内イベントです。球技を中心とする活動になることが多いのですが、感染症対策として、分散、非接触型の対応を考慮するとともに、運動が苦手な生徒も活躍したり楽しめたりできる種目を考え、以下の内容で実施しました。

【運動系種目】「kick base ball」。体育館にて学級チーム対抗で実施。

【知識系種目】「南中クイズ王」。各クラス3～5人のチームを複数編成。順番に答え、総合得点にて勝敗を決する。解答はタブレットのオクリンクを活用。

【芸術系種目】「ラッキーカラー ポスターコンテスト」。テーマ「体育祭」に合うポスターを作成。くじで決まった3色+黒ペンを使用。

評価観点は、オリジナリティ、チームワーク、創意工夫など。

2年生総務と各学年委員会の周到な準備、運営のもと、「創輝」の実現に向けて、笑顔が飛び交う中で楽しく活動することができました。



## ● 夏季休業日の学校閉庁日等について

見附市教育委員会の方針を受け、夏季休業中の対応を次のようにいたします。

(1) 学校閉庁日：8月10日（火）～13日（金）及び16日（月）の5日間。

緊急時は、以下の連絡先へお願いいたします。

見附市教育委員会 0258-62-1700

① 校地校舎に係わること 教育総務課

② 生徒に係わること 学校教育課

(2) 週休日：8月7日（土）8日（日）の2日間及び14日（土）15日（日）の2日間。

休日（振替休日）：8月9日（月）

緊急時は、以下の連絡先へお願いいたします。

— —

(3) 8月7日（土）～16日（月）までの10日間は、認可されたコンクール等以外は、原則として学校教育活動を行いません。ご承知おきくださいますようお願いいたします。

## ● 夏季休業中の「四つ葉運動」

見附市は、「ふるさと見附を愛する子ども」「世に役立つことを喜びとする子ども」の育成を目指し、4つの視点を大切にする「四つ葉運動」を推進しています。

- |                                |
|--------------------------------|
| ① 挨拶は「絆」の礎。                    |
| ② 読書を通して「深く考える力」を養う。           |
| ③ 花とみどりを育てることは「命のバトン」をつなぐこと。   |
| ④ お手伝いは、人のために役立つ喜びが、子どもの心を育てる。 |



学校生活と違うサイクルで生活する長期休業を、是非、「心」を鍛え育む期間として捉え、自分自身を見つめる時間を大切にして欲しいと願っています。生徒達は、学校生活でも、口には出さず目に見えないところで頑張っていることが多々あります。誰かと比較するのではなく、力を注いでいる場面を見つけ、本人の頑張りや変容を認め励ましていきたいものです。

## ● 「健幸ポイント」のご寄付ありがとうございました

見附市が推進している、健康づくりと地域活性化を目的とした「健幸ポイント」。歩いた歩数や体重を計測し、数値の変化に応じてポイントがつき、地域で利用できる商品券と交換する事業です。地域の皆様のご厚意で商品券11枚(5,500円)のご寄付をいただきました。熱中症対策など、生徒の教育活動に還元できる形で有効活用させていただきます。大変ありがとうございました。